

試料 番号	降雨開始 年月日時分	測定日時 月日時分	計 数 率 cpm				備 考
			比較試料計数率	自然計数率	試料計数率 (自然計数 をのぞく)	試料計数率 cpm/l	
13	6. 9 18.30	6.11 12. 0	3,698.6±27.4	36.9±0.7	9.4±1.6	94±16	
14	6.21 4.30	6.22 14.10	3,702.5±27.4	24.7±0.6	61.2±1.9	612±19	
15	6.25 12.30	6.26 10.30	3,602.2±27.0	23.5±0.8	10.0±1.3	100±13	
16	7. 9 7. 0	7.10 10.30	3,600.4±27.0	23.3±0.8	5.0±1.8	50±18	
17	7.13 5. 0	7.14 12.10	3,731.8±27.5	29.8±0.6	39.7±1.7	397±17	夕立
18	7.19 7.30	7.20 12. 0	3,821.5±27.6	20.8±0.9	21.9±2.2	219±22	
19	7.27 6.30	7.28 11.20	3,666.4±27.2	24.7±0.6	23.5±1.6	235±16	
21	8.23 7.30	8.23 10. 0	3,745.4±27.5	25.0±0.6	73.0±2.1	730±21	
22	10.28 11. 0	10.29 12.15	3,820.9±27.6	25.3±0.7	49.9±1.8	499±18	
23	11. 3 13. 0	11. 5 11. 0	3,742.6±27.5	24.8±0.6	122.4±3.9	1,224±3.9	
24	11.15 16. 0	11.16 14.10	3,695.4±27.4	25.1±0.7	91.2±2.3	912±23	
25	11.16 7. 0	11.17 10.20	3,855.3±27.7	24.8±0.6	68.8±2.7	688±29	
26A	37.11.27 3. 0	11.28 1. 0	3,720.1±27.5	25.3±0.6	757.2±2.9	7,572±29	蒸発残渣黒色多量
26B		11.30 10.30	3,607.0±27.0	27.4±0.6	592.0±7.8	5,920±78	同試料第2回測定
26C		12. 7 11.20	3,645.5±27.2	24.6±0.7	540.6±5.3	5,406±53	同試料第3回測定
27	11.28 4. 0	11.29 11. 0	3,621.6±27.1	21.4±0.9	211.7±4.8	2,117±48	
28	12. 5 4.30	12. 7 11.10	3,577.0±26.8	25.5±0.7	22.2±1.6	222±16	
29	12.21 2. 0	12.17 9. 0	3,826.3±27.7	22.5±0.6	79.3±2.1	793±21	
30	38. 2. 7 6. 0	2. 8 11. 0	3,865.7±27.7	24.2±0.7	26.2±1.8	262±18	
31	3.12 1. 0	3.12 14. 0	3,790.0±27.6	24.6±0.7	115.4±1.4	1,154±14	雪
33	3.28 2. 0	3.29 11. 0	3,946.8±29.0	25.5±0.6	53.2±1.9	532±19	

#### (4) ま と め

11月末に急に放射能が増大し7,572cpm/lをしめたこの試料を10日間の中に2回測定したが著しい減衰をしめさなかつた。

12月に入り平常に復した。通常500cpm/l前後である。1,000cpm/lをこしたのは、4月25日、5月22日、6月2日、11月3日、11月27日、11月28日の雨および3月12日雪であつた。

## 4. 富士山積雪の放射能について

秋山 悌四郎 久保田寿々代 渡辺 操 村田 和禧

### 1) ま え が き

例年多数の登山者が、その積雪をとかし飲用に供することの多いのにかんがみ、富士山開きをまえにして、その積雪、ならびに各山小屋の天水等の放射能測定を目的として、昭和37年6月28日、29日富士山に登山して、

試料24ヶを採取し、その放射能を測定した。

### 2) 測 定 方 法

沖電気社製 Suvey Meter (GM管 Philips社製 18506型 マイカ厚さ25~35mg/cm<sup>2</sup>) を現地に持参し、積雪

の比較的放射能の多い場所の試料約200ccならびに、各  
 山小屋の天水も同量採取し、実験室に持参して測定した。

測定方法及び測定器は、前項に掲載したのと同様であ  
 る。

### 3) 測定結果

試料 番号	試料名	試料 種類	測定月日	計 数 率			cpm 試料計数率 cpm/l
				比較試料	自然計数	試料計数率 (自然計数 を除く)	
1	2 合目滝沢林道湧水	湧水	6.30	3,731±43.1	22.7±0.6	0.7±1.2	7±12
3	5 合目佐藤小屋	天水	6.30	〃	22.3±0.8	-0.3±0.7	-3±7
2	5 合目経ヶ嶽	天水	6.30	〃	23.5±0.6	1.8±0.2	18±2
6	6 合目穴小屋	天水	6.30	〃	23.4±0.5	-0.4±0.4	-4±4
4	7 合目花小屋	天水	6.30	〃	23.4±0.7	-0.3±0.2	-3±2
16	7 合目鎌岩館	天水	7.2	3,694±38.4	23.5±0.6	0.7±0.9	7±9
14	7 合目富士荘川村しげ	天水	6.30	3,761±43.5	22.7±0.8	1.9±0.2	19±2
17	7 合目東洋館(旧)	天水	6.30	〃	22.3±0.6	2.3±0.5	23±5
9	7 合目東洋館横砂走雪溪高 所中間層	雪氷	6.30	〃	23.0±0.8	2.4±3.0	240±30
10	同 低所深層	雪氷	6.30	〃	28.2±0.5	152.5±4.1	1,525±41
11	同 低所浅層	雪氷	6.30	〃	27.3±0.6	43.4±2.8	434±28
12	8 合目白雪荘	天水	6.30	〃	22.7±0.6	1.8±1.7	18±17
22	8 合目雪溪高所(静岡側)	雪氷	7.2	3,694±38.4	23.5±0.8	7.9±1.8	79±18
21	〃 低所(〃)	雪氷	7.2	〃	24.2±0.7	327.2±5.8	3,272±58
8	8 合目太子館(井上政一)	天水	6.30	3,761±43.5	23.0±0.5	-0.2±0.2	-2±2
27	8 合目ホテル	天水	7.2	3,694±38.4	24.1±0.8	1.0±0.7	1.0±7
19	9 合目雪溪表層(山梨側)	雪氷	7.2	〃	23.5±0.6	61.9±3.0	619±30
20	頂上石垣の氷	氷	7.2	〃	25.5±0.6	1.4±1.0	14±10
25	頂上小口の雪	雪氷	7.2	〃	23.5±0.8	72.0±1.0	720±10
24	頂上小屋の雪	雪氷	7.2	〃	23.8±0.8	2.5±0.3	25±3
23	頂上の金明水湧水	湧水	7.2	〃	24.4±0.8	-1.3±0.6	-13±6
5	頂上のつらら(A)	氷	7.2	〃	23.4±0.9	1.3±1.0	13±10
26	同 (B)	氷	7.2	〃	24.1±0.8	1.4±0.7	14±7
7	火口の氷	氷	6.30	3,761±4.35	24.2±0.5	1.8±0.9	18±9

### 4) むすび

i) 湧水、天水はいつでも極めて少なく、問題外であ  
 る。

ii) 積雪の放射能は、下層部が多く、表層部は少ない。

然も静岡県側の雪溪が、山梨県側のそれより多い。

すなわち、積雪の最大値は、No21の8合目雪溪低部  
 3,272cpm/lあり、又同じ雪溪でも、No10, 11のごとく  
 深層1,525cpm/lに対し、表層は434cpm/lである。